

Netz

GOODYEAR

WAKOS

DyDo
Drink Message

Racing Development
TRD

TOYOTA

【主管】

トヨタカーズ・レース・アソシエーション(T.R.A.)

TRD

【協賛】

日本グッドイヤー株式会社
株式会社和光ケミカル
ダイドードリンク株式会社
トヨタテクノクラフト株式会社
トヨタ自動車株式会社

<http://netz.jp/netzcup>

Netz Cup Vitz Race

Netz Cup Vitz Race 2012 HAND BOOK



TRD

ご挨拶

2000年のシリーズスタート以来、13年目のシーズンを迎えた「Netz Cup Vitz Race」は、また新たなステージへと進化します。初代Vitz(SCP10)は2005年まで、2006年からは二代目Vitz(NCP91)、そして今年から三代目となるVitz(NCP131)に参加車両が一新されます。

二世代車両に渡り、日本国内最多の参加台数を集めるワンメークレースとして継続開催しておりますが、新型車両になりましても、ナンバー付車両のレースの手軽さを持ちつつ、モータースポーツの醍醐味を体感できるシリーズを目指して開催してまいります。

現在、トヨタ自動車が進めるグラスルーツモータースポーツ活動への関心が深まる中、「Netz Cup Vitz Race」は、これからも参加型モータースポーツのパイオニアとして、より一層モータースポーツ界の発展に寄与していきたいと思っております。

ご参加いただきますドライバー、チーム、ネット店各社の皆様のご健闘をお祈りいたしますとともに、オーガナイザー、パートナーシップカンパニー各社をはじめとする関係各位の皆様には、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2012年3月

トヨタカーズ・レース・アソシエーション(T.R.A.)

目次

- ネットスカップ開催のご挨拶 ————— 2
- 大会開催日程 ————— 3
- 賞典 ————— 4
- 競技規定 ————— 5～13
- 車両規定 ————— 14～19
- 2011ポイントランキング ————— 20～21
- 開催サーキット案内 ————— 22
- Netz Cup Vitz Race 便覧 ————— 23

| 大会開催日程 | | | 北海道 3戦 | 東北 3戦 | 関東 4戦 | 関西 4戦 | 西日本 3戦 |
|--------|--------------|--------------|---|--|----------|----------|-----------|
| 開催日 | サーキット | メインイベント | | | | | |
| 5月 | 3~4 | 富士 | | | ① | | |
| | 20 | SUGO | | ① | | | |
| | 27 | 岡山国際 | チャレンジカップレース | | | ① | |
| 6月 | 9~10 | 富士 | | | ② | | |
| | 24 | 十勝 | クラブマンカップレース | ① | | | |
| 7月 | 6/30 ~7/1 | 鈴鹿 | クラブマンレース | | | ② | |
| | 8 | オートボリス | ゴールドカップレース | | | | ① |
| | 14~15 | 富士 | フォーミュラ・ニッポン | | | ③ | |
| | 28~29 | SUGO | SUPER GT | | ② | | |
| 8月 | 25~26 | 岡山国際 | F3 & スーパー耐久 | | | ③ | |
| | 26 | オートボリス | ゴールドカップレース | | | | ② |
| 9月 | 2 | 十勝 | クラブマンカップレース | ② ※ | | | |
| | 16 | 鈴鹿 (西コース) | クラブマンレース | | | ④ | |
| | 22~23 | SUGO | フォーミュラ・ニッポン | | ③ | | |
| | 29~30 | オートボリス | SUPER GT | | | | ③ |
| 10月 | 21 | 十勝 | クラブマンカップレース | ③ | | | |
| | 27~28 | 富士 | チャンピオンレース | | | ④ | |
| 11月 | 16~18 | 富士 | JAF Grand Prix SUPER GT&Formula NIPPON FUJI SPRINT CUP 2012 | Netz Cup Vitz Race 2012 Grand Final | | | |

※北海道シリーズ第2戦は、決勝レースをダブルヘッダー開催します。

2012 各大会賞典

| | |
|----------------|--|
| グッドイヤー賞 | 予選順位が中間のドライバー（決勝出走台数が偶数台数の場合は下位）に、日本グッドイヤー株式会社より賞品が授与されます。 |
| ワコーズ賞 | 決勝順位が1～3位及び、予選前に指定した順位のドライバーに、株式会社和光ケミカルより賞品が授与されます。 |
| ダイドードリンコ賞 | 決勝レースで一番順位を上げたドライバー（複数の場合は決勝順位が下位）に、ダイドードリンコ株式会社より賞品が授与されます。 |
| TRD賞 | ポールポジションを獲得したドライバーに、トヨタテクノクラブ株式会社・TRDより賞品が授与されます。 |
| ネット・ザ・クリエイティブ賞 | ヴィッツレース参加にあたって、素敵な意気込みを語ってくれたドライバーに、トヨタ自動車株式会社より賞品が授与されます。 |

Netz Cup Vitz Race 2012 Grand Final 賞金

| | Netz賞 | TRD賞 | 合計 |
|----|----------|----------|----------|
| 1位 | 150,000円 | 50,000円 | 200,000円 |
| 2位 | 100,000円 | 50,000円 | 150,000円 |
| 3位 | 100,000円 | — | 100,000円 |
| 4位 | 50,000円 | — | 50,000円 |
| 5位 | 50,000円 | — | 50,000円 |
| 6位 | 50,000円 | — | 50,000円 |
| 総額 | 500,000円 | 100,000円 | 600,000円 |

2012 シリーズ賞金（各シリーズ共通）

| | Netz賞 | TRD賞 | 合計 |
|----|----------|----------|----------|
| 1位 | 150,000円 | 50,000円 | 200,000円 |
| 2位 | 100,000円 | 50,000円 | 150,000円 |
| 3位 | 100,000円 | — | 100,000円 |
| 4位 | 50,000円 | — | 50,000円 |
| 5位 | 50,000円 | — | 50,000円 |
| 6位 | 50,000円 | — | 50,000円 |
| 総額 | 500,000円 | 100,000円 | 600,000円 |

※シリーズ入賞者には認定証が授与されます。

2012 シリーズ特別賞

| | | |
|--------------------|---------|--|
| ルーキー賞 (各シリーズ1名) | 50,000円 | ポイントを獲得した新人（2011年11月以降に国内Aライセンス取得）の中で最も成績の良かったドライバーに進呈。 ※T.R.A.レーシングパスポートの申請に基づきJAFの協力のもとライセンス取得時期を確認いたします。 |
|--------------------|---------|--|

Netz Cup Vitz Race 2012
競技規定

第1条 大会

ネットカップヴィッツレースは国際自動車連盟（FIA）の2012年国際モータースポーツ競技規則に準拠した、2012年JAF国内競技規則、2012年国内競技車両規則、本2012年ネットカップハンドブック規定、各大会特別規則書及び各サーキット規定に従って開催される。

第2条 組織

本シリーズはトヨタカーズ・レース・アソシエーション（以下T.R.A.）の主管により運営される。各大会オーガナイザーは一般社団法人日本自動車連盟（JAF）公認のもと、ネットカップヴィッツレースの名称を付したレースを組織、開催する。大会組織委員会、競技会審査委員会、競技役員は各大会の特別規則書にて公示される。

第3条 規則の熟知と遵守

参加者はレースの諸規則ならびに当該大会別に定められた諸規則を熟知し、これを遵守すると共に、各大会オーガナイザー及び競技役員の指示に従う義務を負うものとする。

第4条 参加資格

全てのドライバーは、T.R.A.レーシングパスポートに登録されたT.R.A.認定ドライバーであり、JAF国内競技運転者許可証A以上の所持者、もしくはJAF以外のASN発給の同様ライセンス所持者であること。但しその場合は、FIA国際モータースポーツ競技規則に定められた海外レース出場申請が済んでいること。

第5条 参加車両・ゼッケン番号・ドライバーの装備品

- 車両は別掲の車両規定に合致した物でなければならない。
- ゼッケン番号はT.R.A.レーシングパスポート申請に基づき、T.R.A.が決定する。
- ドライバーはJAF国内競技車両規則第4編「レース競技に参加するドライバーの装備品に関する付則」に従い装備品を整えること。但し、競技用ヘルメットについては四輪用のフルフェイスタイプの装着及び耐火炎アンダーウェア、耐火炎ソックスについてはFIA基準8856-2000に合致したFIA認定品の着用を義務付ける。
- 頭部及び頸部の保護装置の装着を推奨する。尚、装着する場合は、JAF国内競技車両規則第4編「レース競技に参加するドライバーの装備品に関する付則10. 頭部および頸部の保護装置」に合致すること。

第6条 保険

- 各大会の大会特別規則書の規定に従うこと。
- 各大会の大会特別規則書に規定が無い場合、ドライバーは900万円以上、チームクルーは400万円以上の有効な保険に加入していなければならない。

第7条 ドライバー及びチームクルーの遵守事項

参加者、ドライバー及びチームクルーは秩序ある行動をとること。そして相互に、また競技役員を含む全ての関係者に対して攻撃的または侮辱的な言動をとる事は厳に慎まなければならない。この条項に違反した場合は訓戒から失格までの罰則が与えられる。

第8条 罰則

- サーキットにおけるドライブ行為の規律
ドライバーはFIA国際競技規則付則L項第4章「サーキットにおけるドライブ行為の規律」及び当該大会に有効な安全規定及びそれに準ずる規定を遵守しなくてはならない。当該大会競技役員からこの条項の違反行為と判断され、当該大会審査委員会より罰則（訓戒を含む）を科せられたドライバーは、当該競技の罰則とは別にT.R.A.からも下記の通り厳しく罰せられる。
 - ①T.R.A.により、罰則内容が公示される。
 - ②T.R.A.が罰則内容を考慮し危険行為に該当すると判断した場合は、ペナルティーポイントが付与され、T.R.A.により公示される。
 - ③ペナルティーポイントは参戦した各シリーズごとに加算され、その累積件数で当該シリーズポイントの減算・剥奪が実施される。
 - 1) ペナルティーポイントが2件に達したドライバーは、その年度内に獲得した当該シリーズポイントのうち20ポイントが減算される。

- 2)ペナルティーポイントが3件に達したドライバーは、その年度内に獲得した当該シリーズポイントが全て剥奪される。
- ④全シリーズのペナルティーポイント累積件数が4件に達したドライバーは、全シリーズのポイントが剥奪される。
- ⑤全シリーズのペナルティーポイント累積件数が5件以上に達したドライバーは、さらに厳しく、T.R.A.より罰せられる。
- ⑥特別戦に於いて罰則が科されペナルティーポイントが発生した場合の取り扱いに関しては、その罰則内容を考慮し、T.R.A.が決定を行う。
- ⑦上記ペナルティーポイントは最終ペナルティーポイントが科せられた日から1年間累積され、1年後の翌日から個別に削除される。

2.車両規則違反

ドライバーは本車両規定、該当するJAF国内競技車両規定および当該サーキットの車両規定を遵守しなければならない。この条項に違反し失格となった場合は、当該競技会審査委員会の審議結果を考慮し、その年度内に獲得したシリーズポイントの全てを剥奪する場合がある。

第9条 Netz Cup Vitz Race 2012 Grand Final

内容に関しては別途公示する。

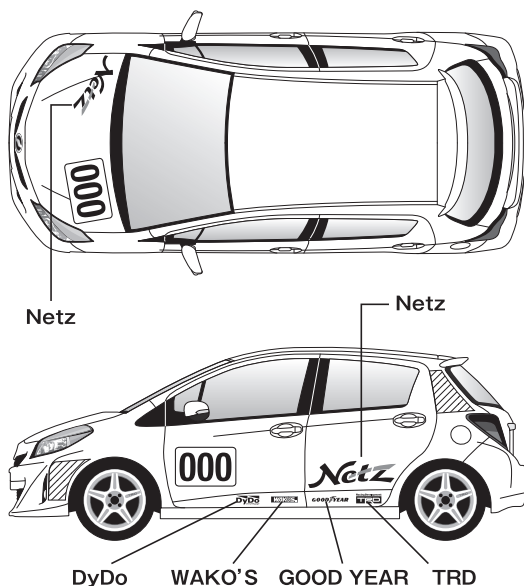
第10条 広告スペース

1.広告専用スペースの提供

参加者はT.R.A.及び協賛各社、当該オーガナイザーの為に広告専用スペース(下記図参照、斜線部分含む)を提供しなければならない。

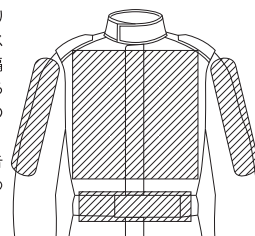
2.指定ステッカーの貼付

T.R.A.指定ステッカーの貼り付け位置及び角度は下図の通りとし、その他のステッカー等の貼り付けは認められない。尚、スポンサーステッカーの左右には十分な間隔を空けて貼り付けることとし、これに対する一切の加工は認められない。更にそれらの外観を毀損することも認められない。



3.指定ワッペンの貼付

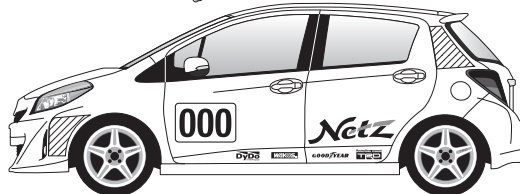
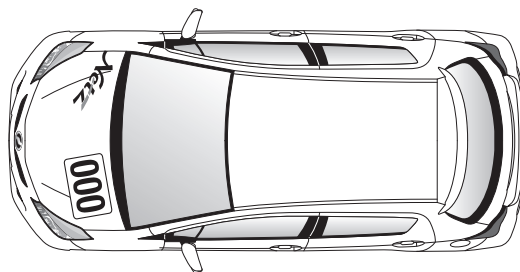
T.R.A.指定GOODYEARワッペンの貼り付け位置は右図斜線部分内とする。尚、スポンサーワッペンの周囲には十分な間隔を空けて貼り付けることとし、これに対する一切の加工は認められない。更にそれらの外観を毀損することも認められない。



- 4.参加者は、参加者自身による特定の広告が拒否される場合があることをあらかじめ承知していなければならない。

第11条 ゼッケン番号

- 1.ゼッケン及びゼッケンベースはT.R.A.指定のものを使用し、下図の通りの位置及び角度で貼り付けなくてはならず、その他の場所には貼り付けないこと。



<ゼッケンの桁数について>

3桁 2桁 1桁
全ての桁数においてゼッケンベース内の中央に配置する。



- 2.参加者に配布するゼッケン及びゼッケンベースは原則として1セットまでとする。それ以上の枚数が必要となった場合、T.R.A.にその旨申し出を行い、必要と認められた場合に限り配布される。
- 3.ゼッケン番号「1」はシリーズ戦以外のT.R.A.の指定した特別戦の優勝者が翌年度使用する権利を有し、その優勝者が権利行使した場合、本年度使用していたゼッケン番号の使用権利は翌年度も保持される。
- 4.ゼッケン番号は、毎年更新されるものとし、T.R.A.が定める期間内にT.R.A.レーシングパスポートの更新ともに行うこと。なお、期間内に更新されない場合、そのゼッケン番号の使用権利は失われる。

第12条 参加申込

シリーズ戦各大会への参加申込は、当該大会オーガナイザー宛に行うこと。参加受付期間はオーガナイザーにより異なるが、大会開催日の2ヶ月前を目安に下記連絡先まで大会特別規則書／参加申込書類を請求すること。特別戦については別途公示する。

- 参加申込方法／受付期間:各大会特別規則書に準じる。
- 参加料：¥36,750(消費税¥1,750含む)
- 参加申込時に提出する書類
 - 参加申込書
 - 公認レース車両申告書
 その他にも、オーガナイザーにより書類提出を求められる場合があるので、各大会特別規則書に従うこと。
- 参加申込書に記載する車名には必ず「ヴィッツ」又は「Vitz」の文字が含まれていなければならない。
- 参加申込書／大会特別規則書の問い合わせ先

北海道シリーズ 全戦

〒089-1573 北海道河西郡更別村弘和477
十勝スピードウェイ
TEL:0155-52-3910

東北シリーズ 全戦

〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生6-1
スポーツランドSUGO 菅生スポーツクラブ
TEL:0224-83-3111

関東シリーズ 全戦

〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向694
富士スピードウェイ レース事務局
TEL:0550-78-2340

関西シリーズ

<第1戦／第3戦>
〒701-2612 岡山県美作市滝宮1210
岡山国際サーキット レース事務局
TEL:0868-74-3311
<第2戦／第4戦>
〒510-0295 三重県鈴鹿市福生町7992
鈴鹿サーキットSMSC事務局
TEL:059-378-3405

西日本シリーズ 全戦

〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8
オートポリス
TEL:0973-55-1111

第13条 各シリーズ・大会の開催場所・日程、レース距離及び決勝出走台数

■北海道シリーズ

| 大会 | 開催場所 | 開催日 | LAP | レース距離 | 決勝出走台数 |
|------|--------------------|--------|-----|----------|--------|
| 第1戦 | 十勝スピードウェイ・クラブマンコース | 6月24日 | 12 | 40.87km | 36台 |
| 第2戦① | | 9月2日 | 6 | 20.435km | |
| 第2戦② | | | 12 | 40.87km | |
| 第3戦 | | 10月21日 | | | |

※第2戦①②に関する大会概要に関しては、別途公示する。

■東北シリーズ

| 大会 | 開催場所 | 開催日 | LAP | レース距離 | 決勝出走台数 |
|-----|-------------|----------|-----|---------|--------|
| 第1戦 | スポーツランドSUGO | 5月20日 | 10 | 37.04km | 45台 |
| 第2戦 | | 7月28～29日 | | | |
| 第3戦 | | 9月22～23日 | | | |

■関東シリーズ

| 大会 | 開催場所 | 開催日 | LAP | レース距離 | 決勝出走台数 |
|-----|-----------------|-----------|-----|----------|--------|
| 第1戦 | 富士スピードウェイ・フルコース | 5月3～4日 | 8 | 36.504km | 45台 |
| 第2戦 | | 6月9～10日 | | | |
| 第3戦 | | 7月14～15日 | | | |
| 第4戦 | | 10月27～28日 | | | |

■関西シリーズ

| 大会 | 開催場所 | 開催日 | LAP | レース距離 | 決勝出走台数 |
|-----|---------------|-----------|-----|----------|--------|
| 第1戦 | 岡山国際サーキット | 5月27日 | 10 | 37.03km | 42台 |
| 第2戦 | 鈴鹿サーキット・フルコース | 6月30～7月1日 | 7 | 40.649km | 48台 |
| 第3戦 | 岡山国際サーキット | 8月25～26日 | 10 | 37.03km | 42台 |
| 第4戦 | 鈴鹿サーキット・西コース | 9月16日 | 12 | 41.7km | 30台 |

■西日本シリーズ

| 大会 | 開催場所 | 開催日 | LAP | レース距離 | 決勝出走台数 |
|-----|--------|----------|-----|----------|--------|
| 第1戦 | オートポリス | 7月8日 | 9 | 42.066km | 46台 |
| 第2戦 | | 8月26日 | | | |
| 第3戦 | | 9月29～30日 | | | |

※ピットロード制限速度

各大会特別規則書もしくは各サーキット共通規則書の規定に従うものとする。
記載がない場合は、60km/h以下とする。

※完走周回数

各大会特別規則書もしくは各サーキット共通規則書の規定に従うものとする。
記載がない場合は、レース距離の70%以上とする。

第14条 T.R.A.レーシングバスポート

- T.R.A.レーシングバスポートはT.R.A.指定の申請用紙に必要事項を記入の上、車検証コピーを添えてT.R.A.に申請することにより、登録・発行される。
- 参加者は、大会参加申込前までに、T.R.A.へ申請し登録を完了していること。
- 当該シリーズに参加する車両及び封印エンジン、ドライバーはT.R.A.レーシングバスポートに記載されたものとする。
- T.R.A.レーシングバスポートは、大会参加受付時に必ず提出しなければならず、返却は公道走行チェック時に行う。
- 登録車両が、シリーズ各大会に初参加する場合は、トヨタ自動車(株)発行の「メンテナンスノート」、トヨタテクノクラフト(株)発行の「車両保証書」及びT.R.A.レーシングバスポートに参加証明となる捺印を受けるものとする。
- T.R.A.レーシングバスポートは毎年更新するものとし、T.R.A.が定める期間内に更新しなければならない。
- 紛失した場合は速やかにその旨をT.R.A.に連絡し、再発行の手続きを受けること。但し、更新及び再発行には数日掛かることを考慮しておくこと。紛失した場合は、再発行の手数料を徴収する。

第15条 車両の交換

参加受付後の車両交換は、いかなる場合も認められない。

第16条 エンジン修理及び交換

エンジンの封印を取り外して行う修理は認められない。また、エンジン本体を破損してしまった場合は封印済みのエンジン本体に交換しなくてはならない。その際はT.R.A.へ連絡をし、T.R.A.レーシングパスポートの更新やエンジン供給または交換の手続きを行わなくてはならない。

第17条 大会期間中のエンジン交換

当該大会期間中のエンジン交換は、いかなる場合も認められない。

第18条 大会期間中のトランスアクスル交換及び作業

当該大会期間中のトランスアクスル交換及びトランスアクスルの脱着及び本体の分解を伴う作業は、認められない。

第19条 ボディーの修復

ボディーの修復に関しては、トヨタ自動車株式会社発行の「ボディー修理書」に従い、ボディーの修復を行わなければならない。なお、ボディー交換による修復は認められない。

第20条 タイヤ

- 1.公式予選、決勝を通じて使用できるタイヤは4本までに制限される。
- 2.公式車両検査時に4本のタイヤにマーキングが施される。
- 3.公式車両検査時に施されたタイヤのマーキングは、当該大会終了時まで保存しなければならない。尚、大会期間中、当該大会でマーキングされたタイヤの提示を求める場合があり、その場合は指示に従うこと。
- 4.バースト等、やむを得ない理由の場合のみ、当該大会技術委員長の承認を得られれば1本の交換は認められる。2本以上の交換が必要な場合には、当該大会技術委員長の許可を得た上で、当該大会審査委員会の承認を得ること。2本以上交換した場合、レースのスターティンググリッドの最後尾スタート、もしくはビットスタートとなる。なお、交換の申請は当該大会事務局へ届け出ること。
- 5.タイヤの裏組み(左右を逆に組み直す)は禁止され、タイヤマーキングは車両外側に向くようにすること。

第21条 燃料

競技車両が大会参加時に使用する燃料は、JAF国内競技車両規則第3編第1章第9条「燃料」に従い、通常のガソリンスタンドのポンプから販売されている(潤滑油以外のいかなる添加物も含まない)自動車用無鉛燃料(ガソリン)を使用すること。

第22条 エアバッグコンピューター

公式車両検査開始前までには、エアバッグコンピューターのコネクターを取り外しておくこと。また、競技中も常にその状態を維持していなければならない。なお、公道走行チェック時には必ず当コネクターを接続しておくこと。

第23条 公式車両検査

公式車両検査に合格した車両は、いかなる改造(加工・交換・追加・変更)も認められない。また、使用や事故による摩耗や損傷した部品の交換(修復)は当該大会技術委員長の許可を受けた上で行う事とする。その際、当該車両は再車両検査により承認を得なければならない。

第24条 予選組分け方法

予選を2組以上に分けて行う場合、当該シリーズの前大会に出場し決勝及びコンソレーションレースの結果を残した選手については、その結果の上位より、交互に組分けを行う。(コンソレーションレースの1位は、決勝レースの順位認定を受けた最終の者の次順として扱う。)それ以外の選手については、ゼッケン番号を基に、交互に組分けを行う。なお、シリーズ第1戦の場合は、全参加者ともゼッケン番号を基に、交互に組分けを行う。

第25条 予選組分けされた場合における決勝レースのスターティンググリッドの決定方法

予選組分けされた場合の決勝グリッドは、各組の予選1位のタイムを比較しより早い組をポールポジションとし、交互に振り分けを行う。決勝グリッドが各組で均一に割り当てられない場合、最終グリッドは各組の予選タイムで1位と当該順位の予選タイムを比較しタイム差が少ないドライバーに与えられる。

第26条 コンソレーションレース

各大会において、最大決勝出走台数を11台以上上回る参加台数があった場合、予選不通過車両を対象とした、コンソレーションレースを行う場合がある。その場合、当該大会の参加者に対しスケジュール等は当該大会の公式通知をもって公示する。

第27条 予選組分けされた場合におけるコンソレーションレースのスターティンググリッド決定方法

予選組分けされた場合のコンソレーションレースのグリッドは、各組の対象となる予選上位者のタイムを比較し、より早い組をポールポジションとし、交互に振り分けを行う。コンソレーションレースがフルグリッドになり各組で均一に割り当てられない場合、最終グリッドは各組の予選タイムで1位と当該順位の予選タイムを比較しタイム差が少ないドライバーに与えられる。

第28条 レーススタート方式

レースのスタート方式はグリッドスタートとする。

第29条 車両保管(車両の場外持ち出しの禁止)

- 1.競技車両は、予選・決勝終了後に当該大会競技役員により車両保管される場合がある。その際には、競技参加者は車両保管解除後に車両整備が認められる。
- 2.競技車両は、公式車検を受けて以降、レース終了後の公道走行チェックを受けるまで、当該サーキットの場外へ持ち出すことは認められない。
- 3.当該大会期間中にリタイヤした場合、リタイヤ届けの受理後に特別に公道走行チェックを受けなければ車両の持ち出しは認められない。

第30条 車両整備

大会期間中に認められる車両整備は以下のとおりとする。但し、技術委員長の許可がある場合はこの限りではない。

- 1.エンジンオイル、トランスミッションオイルの点検補充、交換。
- 2.ブレーキ、クラッチフルードの点検補充、交換エア抜き作業。
- 3.冷却水の点検、クーラント又は水の補充。
- 4.バッテリー液量点検、蒸留水の補充。
- 5.タイヤ、ホイール清掃。
- 6.タイヤエア圧点検、調整。
- 7.ホイール取り付け状態の点検、締め付け確認。
- 8.ウォッシャー液量点検、ウォッシャー液又は水の補充。
- 9.ガソリン給油。
- 10.各種ステッカーの交換。
- 11.シリンダヘッドカバーを脱着してのローラーロッカー及びステムキャップシムの点検・修復。但し、作業を行う場合はT.R.A.に申告すること。
- 12.上記項目以外で車両より部品の取外しを伴わない各部の清掃。

第31条 公道走行チェック

- 1.全ての参加車両に対して、決勝レース・車両保管解除後に、一般公道における安全な運行が可能であることを確認する為の公道走行チェックが義務付けられる。
- 2.決勝レース・車両保管解除後に当該大会競技役員立会のもと、T.R.A.が指定した検査員が当該大会オーガナイザー指定場所にて実施。全ての参加車両は検査開始から60分以内にチェック準備を整え、待機エリアに車両を移動しなければならぬ。
- 3.公式予選不通過及び決勝レース不出場・リタイヤした車両も、当該大会競技役員の手指示に従い公道走行チェックを受けなくてはならない。
- 4.検査項目・検査箇所は以下のとおりとする。
 - ①車体外板
 - ②かじ取り装置
 - ③制動装置
 - ④走行装置
 - ⑤緩衝装置
 - ⑥動力伝達装置
 - ⑦電気装置
 - ⑧原動機
 - ⑨排気系
 - ⑩灯火装置・方向指示器
 - ⑪警告器・密拭器・洗浄液噴射装置
 - ⑫競技走行において異常が認められた箇所

検査内容はJAF指定の「自動車登録番号標付車両によるレース終了後の車両検査票」に従う。但し下記検査内容を追加する。

 - ・エアバッグコンピューターのコネクター接続
 - ・最低地上高(9cm以上)

5.検査の可否と処置

- ①公道走行チェックにおいて一般公道における運行に不適と判断された車両はT.R.A.が管理し、その指示に従い規定の場所までキャリアカーで移動しなければならない(キャリアカーの手配及び費用は当該参加者負担)。規定の場所とは車両所有者または使用者の保管場所、もしくは自動車整備工場とする。
- ②検査において不具合箇所が指摘された車両は、当該箇所の修理・整備作業が完了していることが分かる書面、資料、写真等が提示されないと、それ以降の本レースへの参加は受理されない。

6.検査を受けなかった場合

参加車両が本検査を受けなかった場合、その競技成績は抹消され、且つその参加者、ドライバー及び車両のそれ以降の本レースへの参加は認められない。入賞した車両の競技成績が本項によって抹消された場合その車両の、後順位の車両の順位は繰り上げられない。

第32条 シリーズポイント

1.各大会 ポイント

| | | | |
|----|--------|-----|-------|
| 優勝 | 20ポイント | 6位 | 6ポイント |
| 2位 | 15ポイント | 7位 | 4ポイント |
| 3位 | 12ポイント | 8位 | 3ポイント |
| 4位 | 10ポイント | 9位 | 2ポイント |
| 5位 | 8ポイント | 10位 | 1ポイント |

※上記ポイントは、当該レース完走者へのみ与えられる。

上記の他に、各大会の予選ポールポジション及び決勝ファステストラップを獲得したドライバーに、それぞれ1ポイントが付与される。

※北海道シリーズ第2戦(ダブルヘッダー開催)時のポイント付与に関しては、別途公示する。

- 2.最終シリーズランキングを決定する際、ポイントの集計は獲得した全得点を合計するものとする。同ポイントの場合の順位は上位得点の回数が多い順に決定される。なお、上位得点の回数が同一である場合は最終戦時のポイントで決定され、それでも決まらない場合はカウントバック方式により最終戦の前戦時、前々戦時…のポイントによって決定する。

第33条 賞及びシリーズポイントの制限

- 1.賞金、賞典は決勝出走台数により次のように制限される。

| | |
|------|------|
| 3台 | 1位のみ |
| 4台 | 2位まで |
| 5台 | 3位まで |
| 6~7台 | 4位まで |
| 8台以上 | 6位まで |

- 2.シリーズポイントは決勝出走台数が5台に満たない場合は与えられない。5台以上決勝出走した場合はフルポイントが与えられる。

- 3.不可抗力によるレース中止の場合の取扱い

- ①先頭車両が2周回を完了する前にレースが中止された場合レースは成立せず、シリーズポイントと賞典は与えられない。
- ②車両が2周回以上を完了し、かつ当初のレース距離未満でレースが中止された場合レースは成立し、シリーズポイントと賞典は全て与えられる。

第34条 本規定に記載されていない項目

本規定に記載されていない全ての項目は、各大会の特別規則書及び公式通知により示される。なお、本規定の変更や解釈は、T.R.A.ブルテンとしてT.R.A.より公示される。

車 両

参加車両はトヨタ・Vitz RS Racing(車両型式:NCP131—VPNTMV)とし、トヨタテクノクラフト(株)・TRDにより封印が施されたエンジン本体を搭載していること。本規定で定められていない項目については、2012年JAF国内競技車両規則第3編第5章「スピードSA車両規定」に従っていてはならない。また、道路運送車両の保安基準に適合した有効な自動車検査証を有し、競技中においても保安基準に適合する状態であってはならない。なお、乗車定員の変更は認められない。

定 義

1. 指定部品:T.R.A.より使用が義務付けられた部品。指定部品以外の使用は、純正部品も含み認められない。
 2. 認定部品:T.R.A.より使用が認められた部品。認定部品以外に純正部品の使用も認められる。
- ※T.R.A.が認めた(車両規定及びブルテンに記載されている)場合を除き、指定部品・認定部品に対する加工・変更等の改造は認められない。

第1条 安全規定

改造及び付加物の取り付けなどにより当該大会技術委員長が安全でない車両と判断した場合、その指示に従わなければならない。

1. 安全ベルト
 - ①フルハーネスタイプかつ4点式以上のFIA公認安全ベルトの使用を義務付ける。
 - ②ラベルに表示されている使用期限の過ぎた物やストラップ、構成部品等に異常があるものは使用してはならない。また、万一事故によりシートベルトに強い衝撃を受けた場合ストラップ、構成部品等の外観に異常が無くても使用してはならない。
 - ③取り付けに関しては2012年国内競技車両規則第4編付則「ラリー競技およびスピード行事競技における安全ベルトに関する指導要綱」の条件を満たす事。
 - ④4点式以上の安全ベルトは競技中のみ装着する事が許される。したがって、それ以外の通常走行時は既設の安全ベルトを装着すること。
2. 消火器

全ての車両に消火器の装着が推奨される。但し取り付ける場合は2012年JAF国内競技車両規則第3編第5章第1条1.3に従う事。
3. ロールケージ

T.R.A.指定のロールケージを使用することが義務付けられる。なお、乗員保護の為に頭部等に接触する恐れのあるロールケージの部位は緩衝材で覆われていてはならない。

品番:66510—KP300(ロールケージASSY)
品番:66522—NP900(ロールケージパッド)
4. サークिटブレーカー

取り付けは認められない。
5. イグニッションスイッチ

イグニッションスイッチはその位置が確認できる黄色で明示しなければならない。
6. 牽引用穴あきブラケット

フロント側、リヤ側共にT.R.A.指定の牽引用穴あきブラケットの使用が義務付けられる。但し、フロント側牽引用穴あきブラケットについては一般公道では使用しないこと。

品番:51960—KP300(フロント牽引フック)
品番:51967—KP300(リヤ牽引フック)

第2条 改造規定

参加車両は当規定の「安全規定」と以下の各項に従ったものでなければならない。また、当規定に定められていない項目は当初のまま、変更(取り外し・追加・使用方法等)及び加工等の改造は認められない。更に、当規定に定められていない性能の向上を目的としていると判断される部品の装着はその効果の有無を問わず一切許されない。国内で販売されている同一車両型式車種用の純正部品を使用することは許される。(輸出仕様車専用部品の使用は許されない)また、同一型式車種にレース仕様がある場合、加工を行わない方法で同一の仕様にする事は許される。但しダイアグシステム(故障診断システム)において異常と判断される状態であってはならない。マイナーチェンジ車両の部品はT.R.A.より使用許可の公示がない限り許されない。

第3条 エンジン・エンジン補機類

1. エンジン本体

エンジン本体はトヨタテクノクラフト(株)・TRDにより封印されたものを搭載してはならない。また、エンジン本体及び封印に対する加工・変更等の改造は許されない。
2. エンジンマウント

T.R.A.認定部品への変更が認められる。

品番:12305—NP900(エンジンマウントRH)
品番:12372—KP300(エンジンマウントLH)
品番:12363—NP900(エンジンマウントRR)
3. フライホイール

加工・変更等の改造は認められない。
4. オイルポンプ

加工・変更等の改造は認められない。
5. オイルフィルター

変更は自由。但し、取り付け位置の変更は認められない。
6. オイルフィルターキャップ

変更は自由。

第4条 電気系統

電氣的に、諸装置を動作・調整する事ができる装置(ECU等全てのコンピューター類のコントローラーを含む)は当初から装着されている物及び当規定で認められた物を除き装着は許されない。

1. バッテリー

本体の変更は認められるが、本体外寸は当初の物と同等であってはならない。また、取り付けステーにて確実に固定されていないとせず、搭載位置の変更は認められない。なお、ボディアーアース線の追加・加工・変更等の改造は認められない。
2. オルタネーター

加工・変更等の改造は認められない。
3. 点火系統

T.R.A.認定の点火プラグの使用が認められる。但し、使用する4本の点火プラグは同一品番の物であってはならない。また、イグニッションコイルは加工・変更等の改造は認められない。

品番:10901—SP060—22(TRDLレーシングプラグ)
品番:90919—01243(スパークプラグ)
品番:90919—01247(スパークプラグ)
4. セルモーター

加工・変更等の改造は認められない。
5. ECU

追加及び加工・変更等の改造は認められない。
6. 配線

当規定で認められている部品を取り付ける為の最小限の加工のみ認められる。

第5条 吸排気系

1. エアクリナー

エレメントに限りT.R.A.認定部品へ変更が許される。それ以外の改造は認められない。

品番:MS155—00004(スポーツエアフィルター)(旧品番:17801—NP900)
2. 吸気・排気マニホールド

加工・変更等の改造は認められない。
3. マフラー及び排気管

加工・変更等の改造は認められない。
4. マフラーサポート

T.R.A.認定部品への変更が認められる。

品番:17565—NP900(マフラーサポート)
5. 排出ガス

完全暖機運転後アイドリング状態にて、CO:1%・HC:300ppmを越えないこと。

第6条 冷却系統

- ラジエター
ラジエター本体の追加及び加工・変更等の改造は認められない。また、導風板やダクトの取り付けも認められない。但し、ラジエターキャップは変更が認められる。
- サーモスタット
変更及び取り外しは認められる。但し、取り付け部の加工は認められない。
- ラジエターファン及びファンスイッチ
ラジエターファン及びファンスイッチの加工・変更・追加等の改造は認められない。
- ラジエター配管
加工・変更等の改造は認められない。
- オイルクーラー
オイルクーラーの取り付けは認められない。

第7条 シャシー

- 最低地上高
最低地上高9cm以上を確保すること。
- 全長及び全幅
変更は認められない。
- 最低重量
1010kg
- ラバーマウント及びブッシュ
T.R.A.認定部品の使用が認められる。
品番:48609-NP900(フロントアッパーサポート)
品番:48755-NP100(リヤアッパーサポート)
品番:48752-NP900(リヤサスペンションサポートストッパー)
品番:48654-NP900(フロントロワームブッシュ)

第8条 駆動系

- クラッチ
T.R.A.認定部品の使用が認められる。
品番:31210-AE100(クラッチカバー)
品番:31250-AE963(クラッチディスク)
品番:31250-NP900(クラッチディスク)
組み合わせについては純正品を含めて自由。
また、クラッチホースについては、ボルトオンにて装着可能なものに限り変更が認められる。
- トランスアクスル
加工・変更等の改造は認められない。但し、シンクロナイザーリングについては、T.R.A.認定部品の使用が認められる。
品番:33368-20080(サードギヤ・シンクロナイザーリング)
- 変速レバー
ボルトオンで装着できる物に限り変更が認められる。
- シフトノブ
変更は自由。但し、シフトパターンは運転席から容易に識別できるように表示すること。
- ディファレンシャル
標準品およびメーカーオプション品のみ使用が認められる。
- 最終減速比
ファイナルギヤの加工・変更等の改造は認められない。

第9条 制動装置

ボルトオンにて装着可能なブレーキパッド・ホースに限り変更が許される。

第10条 サスペンション

サスペンション及びその取り付け部位の補強は認められない。

- スプリング
T.R.A.指定部品の使用が義務付けられる。
品番:48131-KP300(フロントスプリング)
品番:48231-KP300(リヤスプリング)
- ショックアブソーバー
T.R.A.指定部品の使用が義務付けられる。
品番:48510-KP300(フロントショックアブソーバー-RH)
補給部品品番:48510-KP310
品番:48520-KP300(フロントショックアブソーバー-LH)
補給部品品番:48520-KP310
品番:48530-KP300(リヤショックアブソーバー)
補給部品品番:48530-KP310
- フロントバンブラバー
T.R.A.指定部品の使用が義務付けられる。
品番:48304-WY010(バンブラバー)
- スタビライザー
加工・変更等の改造は認められない。
- アーム及びロッド類
T.R.A.認定部品のブッシュ変更は認めるがそれ以外の加工・変更等の改造は一切認められない。

第11条 タイヤ及びホイール

- タイヤサイズ:195/55R15
- タイヤ銘柄:GOODYEAR EAGLE RS Sport
- タイヤ及びホイールはいかなる場合も他の部分と接触しないこと。
- タイヤ及びホイールは車軸中心より前方30度・後方50度の範囲内でフェンダーから突出していないこと。
- タイヤ中心より両側50mmの範囲内は常にタイヤ溝深さを1.6mm以上有すること。また、常にタイヤのスリップサインは出ているはならない。
- タイヤの加工または当該大会技術委員長により加工していると判断されるものは使用を認められない。
- ウォームアップ、クールダウン、溶剤塗布等は認められない。
- 使用できるホイールは「15インチ/7.0J+48」又は、「15インチ/7.0J+48」とする。また、使用するホイールは全て同一のものを使用すること。
- ホイールはスチール製、またはJWLまたはVIAマークのある軽合金製とする。
- ホイールナットの材質及び形状の変更は認められる。但しホイールディスク面より突出しないこと。
- ホイールスペーサーの使用は認められない。

第12条 車体

- 1.自動車登録番号標
加工・変更等の改造は認められない。
- 2.空力装置
追加は認められない。
- 3.ボンネット及びトランク
加工・変更等の改造は認められない。
- 4.リヤゲートダンパー
取り外すか、オイル及びガスを抜く事により作動しないようにしてはならない。
- 5.バンパー
加工・変更等の改造は認められない。
- 6.ミラー
室内および室外のミラーの加工・変更等の改造は認められない。
- 7.フロントガラス
純正品以外でも道路運送車両の保安基準に合致した物の使用を認める。
- 8.サイド及びリヤガラス
下記の部品もしくは、道路運送車両の保安基準に合致した無色のサイドガラス及びリヤガラスを使用すること。また塗装及び色付フィルムの貼り付けや、ステッカーの貼り付けはT.R.A.が認めたもの以外は許されない。
品番:68110-52340(フロントドアガラスRH)
品番:68120-52340(フロントドアガラスLH)
品番:68130-52350(リヤドアガラスRH)
品番:68140-52350(リヤドアガラスLH)
品番:68105-52600(バックドアガラス)
- 9.ボディー補強
空洞への充填材注入(当初より充填されている部位を除く)も含み、一切の補強は認められない
- 10.タワーバー、ブレース
追加及び加工・変更等の改造は認められない。
- 11.水／泥はねよけ
追加及び加工・変更等の改造は認められない。
- 12.エンジンアンダーカバー
追加及び加工・変更等の改造は認められない。
- 13.エンブレム
車両前後に取り付けられているエンブレムは、取り外し・加工等の改造は認められない。
- 14.ヘッドランプ
バルブ交換(後付H.I.D.キット含む)への変更及び、これの取り付けに伴う最小限の加工のみ認められる。
- 15.フォグランプ
取り外しのみ認められる。但し、取り外した場合には簡易的ではない方法で蓋をすること。また、蓋はバンパー内側から取り付ける事とし、蓋の取り付けによって空力的性能の向上があってはならない。なお、取り外しを行わない場合は、ガラス飛散防止策を行うこと。
- 16.グリル
加工・変更等の改造は認められない。
- 17.テールランプ
加工・変更等の改造は認められない。

第13条 車体内部

- 1.内装
当規定で定められている部品の取り付けに伴う最小限の内装切除は認められる。また、グローブボックス開閉に関する最小限の切除・加工も認められる。それ以外の、当規定で定められていない車室内の全ての部品は切除及び加工することは認められない。
- 2.防音材
加工・変更等の改造は認められない。
- 3.ステアリングホイール
加工・変更等の改造は認められない。
- 4.ペダルカバー及びヒールプレート
装着する事が認められる。但し確実に取り付けること。
- 5.フットレスト・ニーレスト
装着する事が認められる。但し確実に取り付けること。
- 6.座席
運転席側シート及び助手席側シートに限り変更が認められる。変更する場合はJAF国内競技車両規則第3編第5章9条9.4.5の規定と推奨条件を満たすこと。また、後部座席ヘッドレストについては競技中のみ取り外すことが認められる。
- 7.障害者用操作装置
障害者用操作装置を装着する事が出来る。但し健常者の使用は認められない。
- 8.ヒーター・エアコン
ヒーター及びエアコンの取り外しは認められない。また正常に機能してはならない。
- 9.補助メーター
追加は認められない。
- 10.データーログ
取り付け・搭載は認められない。ただしT.R.A.より任意の車両に対し取り付けを求めた場合はその限りではない。
- 11.ラップタイム自動計測装置
ラップタイム自動計測装置は、ラップタイム計測以外の機能を持たず、電源をシガーライターソケットから取る物に限り取付を認める。
- 12.インナーミラー
インナーミラーの加工・変更等の改造は認められない。

第14条 アクセサリー部品

JAF国内車両規則第4編付則に定められた「アクセサリ等の自動車部品」であっても、下記及び当車両規定に定めるもの以外は、取り付け・取外し・変更は認められない。

- 1.取り付け・変更が可能な部品
コーナーセンサー、コーナープロテクター、ドアエッジプロテクター、ナンバーフレーム、サイドバイザー、スカッフプレート、警告器、空気清浄機、ナビゲーションシステム、音響／映像機器、盗難警報システム、ETC車載器
- 2.取外しが可能な部品
アンテナ

第15条 統一解釈

本規定は道路運送車両の保安基準に適合し、出来る限り加工・変更等の改造の範囲を最小限に留めた車両で、平等な条件の下に一人でも多くの人が参加出来ることを目的として作成されたものであり、本規定の解釈に万一疑義が生じた場合は当該大会技術委員長の解釈をもって最終とする。

■Netz Cup Vitz Race 北海道シリーズ

| 順位 | ドライバー | 第1戦・十勝 9台 | 第2戦・十勝 10台 | 第3戦・十勝 12台 | 合計 ポイント |
|----|--------|--------------|---------------|---------------|------------|
| 1 | 結城 正孝 | 22 | 15 | 12 | 49 |
| 2 | 茂古沼 弘将 | — | 22 | 16 | 38 |
| 3 | 橋本 元 | 12 | 1 | 21 | 34 |
| 4 | 山田 晃司 | 10 | 12 | 6 | 28 |
| 5 | 阿部 晃久 | 15 | — | 10 | 25 |
| 6 | 鹿内 邦宣 | 4 | 10 | 4 | 18 |

■Netz Cup Vitz Race 東北シリーズ

| 順位 | ドライバー | 第1戦・もてぎ 26台 | 第2戦・SUGO 24台 | 第3戦・SUGO 25台 | 合計 ポイント |
|----|----------|----------------|-----------------|-----------------|------------|
| 1 | 渡辺 圭介 | 21 | 12 | 9 | 42 |
| 2 | イシカワ ヨシオ | 15 | 6 | 20 | 41 |
| 3 | 蓬田 昭男 | 13 | 11 | 11 | 35 |
| 4 | 橋本 元 | — | 21 | 12 | 33 |
| 5 | 村上 隆弘 | 2 | 15 | 6 | 23 |
| 6 | 小山 昌子 | — | 0 | 15 | 15 |

■Netz Cup Vitz Race 関東シリーズ

| 順位 | ドライバー | 第1戦・富士 71台 | 第2戦・富士 54台 | 第3戦・富士 61台 | 第4戦・富士 63台 | 合計 ポイント |
|----|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------|
| 1 | 水谷 大介 | 7 | 10 | 22 | 15 | 54 |
| 2 | 蓬田 昭男 | 4 | 21 | 15 | 6 | 46 |
| 3 | 松原 亮二 | 12 | 16 | 4 | 12 | 44 |
| 4 | 茂古沼 弘将 | 15 | 8 | 0 | 20 | 43 |
| 5 | 田ヶ原 章蔵 | 20 | 0 | 3 | 0 | 23 |
| 6 | デバマン石渡 | 0 | 12 | 0 | 11 | 23 |

■Netz Cup Vitz Race 関西シリーズ

| 順位 | ドライバー | 第1戦・鈴鹿 41台 | 第2戦・岡山 36台 | 第3戦・鈴鹿 46台 | 第4戦・岡山 34台 | 合計 ポイント |
|----|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------|
| 1 | 神谷 裕幸 | 8 | 22 | 17 | 12 | 59 |
| 2 | 北川 晃 | 16 | 3 | 12 | 21 | 52 |
| 3 | 三谷 明正 | 21 | 6 | 20 | 0 | 47 |
| 4 | 林 和範 | 2 | 12 | 10 | 10 | 34 |
| 5 | 水谷 大介 | 3 | 15 | 0 | 15 | 33 |
| 6 | 橋本 元 | 12 | 0 | 3 | 8 | 23 |

■Netz Cup Vitz Race 西日本シリーズ

| 順位 | ドライバー | 第1戦・オートボリス 16台 | 第2戦・オートボリス 16台 | 第3戦・オートボリス 15台 | 合計 ポイント |
|----|-------|-------------------|-------------------|-------------------|------------|
| 1 | 河村 直樹 | 21 | 22 | 15 | 58 |
| 2 | 渡辺 和喜 | 16 | 0 | 22 | 38 |
| 3 | 堀川 康祐 | 8 | 12 | 12 | 32 |
| 4 | 野田 浩介 | 12 | 10 | 2 | 24 |
| 5 | 清田 晃治 | 3 | 15 | — | 18 |
| 6 | 北川 晃 | — | — | 10 | 10 |

2011特別戦

■Netz Cup Vitz Race 2011 Grand Final

| 順位 | ドライバー | 富士 76台 | Total Time 10LAP |
|----|----------|----------------|---------------------|
| 1 | 小山 昌子 | ネットヨタ山台ヴィッツ | 25'03.905 |
| 2 | 水谷 大介 | GY Racing Vitz | 25'08.067 |
| 3 | デバマン石渡 | ネット群馬FK光生μヴィッツ | 25'08.301 |
| 4 | イシカワ ヨシオ | IRC石松μMLVitzGY | 25'09.071 |
| 5 | 蓬田 昭男 | DjacGYWmヴィッツML | 25'16.082 |
| 6 | 北川 晃 | NヤサカSRFクムホVitz | 25'18.381 |

■過去のシリーズチャンピオン / 特別戦優勝者

| 型式 / 年 | シリーズ | 北海道シリーズ | 東北シリーズ | 関東シリーズ | 関西シリーズ | 西日本シリーズ | F1戦 | 特別戦 |
|--------|------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|-------|
| SCP10 | 2000 | | | 村田 信博 | | | — | — |
| | 2001 | — | 渋谷 和則 | 碓井 久彦 | 井尻 薫 | 松尾 龍宏 | — | — |
| | 2002 | 舘 彰司 | 中村 善州 | 今村 大輔 | 幸内 秀憲 | 河元 祐二 | — | 今村 大輔 |
| | 2003 | 舘 彰司 | 今野 貴洋 | デバマン石渡 | 森 進 | 神原 力 | — | 武田 雄一 |
| | 2004 | 加藤 由紀 | 小原 健一 | 松代 耕二 | 北中 健之 | 桜谷 孝明 | — | 中田 寛徳 |
| NCP91 | 2005 | 舘 彰司 | 町田 亜矢 | 横溝 豪 | 中田 寛徳 | 橋本 元 | — | 中田 寛徳 |
| | 2006 | 舘 彰司 | 岸野 治男 | 沖井 宣隆 | 河村 直樹 | 神吉 好弘 | — | 平岡 達 |
| | 2007 | 阿部 晃久 | 渡邊 照重 | デバマン石渡 | 平岡 達 | 平岡 達 | 岸野 治男 | 小野田貴俊 |
| | 2008 | 舘 彰司 | 小山 昌子 | 大西 隆生 | 小松 高人 | 堀川 康祐 | デバマン石渡 | 大西 隆生 |
| | 2009 | 阿部 晃久 | 小山 昌子 | 松原 亮二 | 神谷 裕幸 | 福田 明浩 | — | 松原 亮二 |
| | 2010 | 橋本 元 | 松代 耕二 | 松原 亮二 | 河村 直樹 | 清田 晃治 | — | 松原 亮二 |
| | 2011 | 結城 正孝 | 渡辺 圭介 | 水谷 大介 | 神谷 裕幸 | 河村 直樹 | — | 小山 昌子 |

開催サーキット

北海道シリーズ

トカチ 十勝インターナショナルスピードウェイ

北海道河西郡更別村字弘和477
TEL.0155-52-3910

<コース>
●クラブマンコース:1周3,40587km(東側)
コース幅13.5~15m

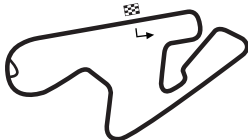


東北シリーズ

スゴウ スポーツランドSUGO

宮城県栗田郡村田町菅生6-1
TEL.0224-83-3111

<コース>
●フルコース:1周3,704km
コース幅10~12.5m

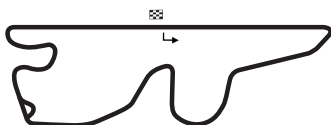


関東シリーズ

フジ 富士スピードウェイ

静岡県駿東郡小山町中日向694
TEL.0550-78-1234

<コース>
●フルコース:1周4,563km
コース幅15~25m



関西シリーズ

スズカ 鈴鹿サーキット

三重県鈴鹿市稲生町7992
TEL.059-378-1111

<コース>
●フルコース:1周5,807km
●西コース:1周3,475km
コース幅9.2~15m



関西シリーズ

オカヤマコクサイ 岡山国際サーキット

岡山県美作市滝宮1210
TEL.0868-74-3311

<コース>
●フルコース:1周3,703km
コース幅12~15m

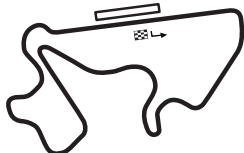


西日本シリーズ

オートポリスインターナショナル レーシングコース

大分県日田市上津江町上野田1112-8
TEL.0973-55-1111

<コース>
●フルコース:1周4,674km
コース幅12~15m



Netz Cup Vitz Race 便覧

シリーズ全体に関するお問い合わせ

トヨタカーズ・レース・アソシエーション(T.R.A.)

<T.R.A.事務局>

〒224-0054 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町2113 103号室
TEL.045-507-4226 FAX.045-507-4225

車両に関する技術的なお問い合わせ

トヨタテクノクラフト株式会社

〒222-0002 神奈川県横浜市港北区師岡町800

TEL.045-540-2121

<http://www.toyota-ttc.co.jp>

モータースポーツ情報ホームページアドレス

ネットスカップ ヴィッツレース <http://netz.jp/netzcup>

トヨタ自動車モータースポーツ <http://ms.toyota.co.jp/jp/>

日本自動車連盟(JAF) <http://www.jaf.or.jp/msports/>

JAFライセンス、JAF規定などについてのお問い合わせ

日本自動車連盟(JAF)

モータースポーツ部 TEL.03-3578-4936

北海道本部 モータースポーツ係 TEL.011-857-7155

東北本部 モータースポーツ係 TEL.022-783-2820

関東本部 モータースポーツ係 TEL.03-6833-9140

中部本部 モータースポーツ係 TEL.052-872-3685

関西本部 モータースポーツ係 TEL.072-645-1300

中国本部 モータースポーツ係 TEL.082-272-9967

四国本部 モータースポーツ係 TEL.087-867-8411

九州本部 モータースポーツ係 TEL.092-841-7000

Netz Cup Vitz Race 2012 ハンドブック

2012年3月発行

トヨタカーズ・レース・アソシエーション(T.R.A.)

<T.R.A.事務局>

〒224-0054 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町2113 103号室
TEL.045-507-4226 FAX.045-507-4225